

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスあおらういず				公表日	令和8年3月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	2階を利用したり、外出（運動等・外遊び）をする。	活動内容や利用人数に応じてスペースの使い方を工夫し、より安全で落ち着いて過ごせる環境づくりを行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	1対1の対応が必要な利用者さんの来られている時は場所も配置も車もきびしいときがある。こどもの状態により、人数が足りないと思う。	利用児童の状況に応じた職員配置の見直しを行い、個別対応が必要な場面にも柔軟に対応できる体制を整えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	仕切りなど利用している。バリアフリーにはなっていない。	児童の特性に応じた環境設定や視覚的支援の工夫を行い、より分かりやすく安心できる空間づくりを進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			児童の特性に応じた環境設定や視覚的支援の工夫を行い、より分かりやすく安心できる空間づくりを進めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個室が1か所のためもう1つ増やす必要がある。	個別対応が必要な児童に対応できるよう、空間の使い方を工夫し、落ち着いて過ごせる環境づくりを行います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		職員全体で振り返りや課題共有を行う機会を充実させ、PDCAサイクルに基づいた業務改善を推進していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		業務改善に向けた姿勢にはなっているが改善には至っていない。	保護者評価の結果を具体的な改善に結びつけるため、改善計画の作成と実行を行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		改善までは至っていない。	職員の意見を業務改善に反映できるよう、意見収集から改善までの仕組みを強化していきます。

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	外部評価してもらい改善できる所など適切にしたい。	外部の専門機関や第三者の視点を取り入れ、より質の高い支援につなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内の研修をよく行っている。	引き続き職員研修の充実を図り、支援の質の向上に努めていきます。
適切な支援の提 #	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムは保護者へ周知している。	支援プログラムについて、より分かりやすい形での情報発信を継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		現在、行っている。十分な時間が必要となるので工夫して行いたい。	アセスメントの時間確保や方法の工夫を行い、より質の高い支援計画の作成につなげていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		やや難しい。モニタリング会議を行っている。	支援に関わる職員間での情報共有をさらに強化し、チームでの支援体制を充実させていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			支援計画の共有を継続し、計画に基づいた支援の質を維持していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		アセスメント方法の統一やツールの活用を検討し、より客観的な評価ができる体制を整えていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			ガイドラインに基づいた支援内容の設定を継続し、質の向上を図っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		活動プログラムについて職員全体での検討機会を増やし、より良い内容へと改善していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			活動内容の多様性を維持し、児童が楽しみながら成長できる支援を継続していきます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			個別活動と集団活動のバランスを意識し、より効果的な支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			支援前の打ち合わせを継続し、役割分担の明確化と支援の質の向上を図っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			支援後の振り返りを継続し、課題共有と改善につなげていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			記録の充実を図り、支援の検証と改善を継続して行っています。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			モニタリングを通して支援の見直しを適切に行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6			ガイドラインに基づいた支援の提供を継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	支援の内容をわかりやすく、選びやすくする必要あり。	児童が自ら選択できるよう、視覚的支援や選択肢提示の工夫を行っています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			関係機関との連携を継続し、支援の質の向上を図っていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		関係機関との情報共有をさらに充実させ、連携体制の強化を図ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			学校との連携を継続し、児童の状況に応じた支援を行っています。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	保育園などから情報を頂くことはできていない。	就学前施設との情報共有の機会を増やし、支援の連続性を高めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		進路移行時の情報共有体制を整え、円滑な移行支援を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		外部専門機関との連携や助言を受ける機会を充実させていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	交流できるように活動を増やしたい。	地域との交流機会を検討し、社会とのつながりを意識した支援を行っています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		協議会等への参加を通して、地域との連携を強化していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			保護者との情報共有を継続し、共通理解のもと支援を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	情報提供は行っているが事業所での実施はしていない。	保護者向けの研修や情報提供の機会を充実させ、家庭支援の強化を図っていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			引き続き丁寧な説明を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			児童や保護者の意向を尊重した支援を継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			支援内容の説明と同意の取得を継続していきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			保護者からの相談に対し、引き続き丁寧な対応を行っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者会はないが交流会は年3回実施。交流会の内容を工夫し、参加増にしたい。	交流機会の内容や実施方法を工夫し、参加しやすい環境づくりを行っていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			苦情対応体制を維持し、迅速な対応を継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			情報発信を継続し、分かりやすい情報提供を行っていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			個人情報の適切な管理を継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			意思疎通の工夫を継続し、安心して相談できる環境を維持していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	もっと地域共有行事に参加したい。地域住民との関わりは少ない。今後、十分にしていきたい。	地域との関わりを増やし、開かれた事業所運営を目指していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	各マニュアルについては保護者へ周知できていない。	各種マニュアルについて、保護者への周知方法を工夫し、理解を深めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			避難訓練等を継続し、安全対策の強化を図っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			健康管理の把握を継続し、安全な支援を行っていきます。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			アレルギー対応の徹底を継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			安全管理体制の維持・向上に努めていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	保護者への周知は出来ていないので行ってきたい。	安全計画について保護者への周知を強化していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	報告書作成で終わっていることが多い。	ヒヤリハット事例を共有し、再発防止に向けた取り組みを強化していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			虐待防止研修を継続し、適切な支援を行っていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			身体拘束に関する説明と記録を適切に行い、適正な運用を継続していきます。